

# グリッドコード

グリッドコードとは、費用対効果と信頼性の高い電力システム運用を支援するために「電力システムや市場に接続された資産が遵守しなければならない幅広い一連のルールを網羅した包括的な条件」を定めたものです。

グリッドコードは、電力網の安全性と信頼性を維持し、電力の安定供給を確保するために①接続コード ②運用コード ③計画コード ④市場コードに関する一連の規則や基準で構成されており、各国や地域毎に構成は異なります。

また、近年の再生可能エネルギーの導入拡大に伴い、グリッドコードの見直しが進められています。特に、太陽光や風力などの変動する電源の統合に対応するための技術要件の強化が、計画的に進められています。

## <日本版グリッドコードの検討ステップ>

日本版グリッドコードはOCCTOを中心に検討されています。なお③計画コードや④市場コードに関する事項については、日本版での検討に含まれていません。

**【短期的な対策】** 再生可能エネルギーの導入拡大に対応するため、周波数および電圧の管理基準が強化されました。これにより、電力システムの安定性が向上しています。

**【中期的な対策】** 蓄電池や電気自動車(EV)の普及を見据えた技術要件が追加される予定です。これにより、電力の需給バランスをより柔軟に管理できるようになります。

**【長期的な対策】** 再生可能エネルギーのさらなる導入拡大に対応するため、より高度な技術要件(スマートグリッド技術の導入など)が検討されています。